

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

JPA 63-087858

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 63087858 A

(43) Date of publication of application: 19 . 04 . 88

(51) Int. Cl      H04N 1/00  
                  G06F 15/62  
                  H04L 11/00  
                  H04M 11/00

(21) Application number: 61234077

(22) Date of filing: 30 . 09 . 86

(71) Applicant: SHARP CORP  
(72) Inventor: KITA TOSHIRO  
                  GENBAN SUSUMU  
                  ITOYA TOSHIYOSHI  
                  TAKEMOTO MASATO  
                  TATSUMI TAKU  
                  IIZUKA YUTAKA  
                  TOMINAGA MEGUMI  
                  HIGASHIYAMA MIKIO  
                  TANIMOTO AKIYOSHI  
                  OKAMOTO SHINJI  
                  YOSHIDA TOSHIHIKO

(54) COMPOSITE TYPE PICTURE PROCESSING DEVICE

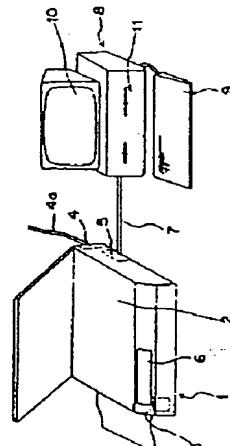
diversified picture processing and edit are attained among the units.

(57) Abstract:

COPYRIGHT: (C)1988,JPO&Japio

PURPOSE: To attain various and diversified picture processings by providing a main control section, a picture read control unit and a picture recording control unit or the like so as to control each unit under the control of the main control section thereby attaining the picture processing among the units.

CONSTITUTION: The picture read control unit 2 reading a picture by control information, a facsimile control unit 4 transmitting/receiving picture information, a picture recording control unit 3 recording picture information, an interface unit 5 connected to a data processing unit 8 as an external device and transmitting/receiving a control command and picture information to/from the data processing unit 8, and the main control section transferring information among the units based on the control command and outputting control information to each unit to control them individually are contained in one case. Thus, a copy function and a facsimile function are executed selectively in the state of off-line with the data processing unit being an external device and various and



## ⑯ 公開特許公報 (A)

昭63-87858

⑯ Int.Cl.

H 04 N 1/00  
G 06 F 15/62  
H 04 L 11/00

識別記号

1 0 7  
3 8 0  
3 2 0

庁内整理番号

A-7334-5C  
8419-5B  
7928-5K

⑯ 公開 昭和63年(1988)4月19日

※審査請求 未請求 発明の数 1 (全23頁)

⑯ 発明の名称 複合型画像処理装置

⑯ 特願 昭61-234077

⑯ 出願 昭61(1986)9月30日

⑯ 発明者 喜多 敏郎 大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号 シャープ株式会社  
内

⑯ 発明者 玄番 進 大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号 シャープ株式会社  
内

⑯ 発明者 糸賀 利由 大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号 シャープ株式会社  
内

⑯ 発明者 竹本 正人 大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号 シャープ株式会社  
内

⑯ 出願人 シャープ株式会社 大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号

⑯ 代理人 弁理士 青山 蔦 外2名

最終頁に続く

## 明細書

## 1. 発明の名称

複合型画像処理装置

## 2. 特許請求の範囲

(1) 制御情報によって画像読み取りを行う画像読み取り制御ユニットと、

制御情報によって電話回線を介して画像情報を送受するファクシミリ制御ユニットと、

制御情報によって画像情報の記録を行う画像記録制御ユニットと、

外部装置としてのデータ処理装置に接続され、上記データ処理装置と制御指令および画像情報の送受を行うインターフェイスユニットと、

上記読み取り制御ユニット、ファクシミリ制御ユニット、画像記録制御ユニットおよびインターフェイスユニット間を夫々接続するバスラインと、

上記バスラインに接続して、外部の上記データ処理装置から上記インターフェイスユニットを介して送られる上記制御指令に基づいて上記各ユニット間の情報転送を行うと共に、上記各ユニットに

上記制御情報を出力して各々個別に制御する主制御部とを一つの筐体内に収納したことを特徴とする複合型画像処理装置。

## 3. 発明の詳細な説明

## &lt;産業上の利用分野&gt;

この発明は、外部データ処理装置としてパーソナルコンピュータ(パソコン)等に接続された新規の画像処理装置に関するものであり、特に主制御を行う主制御部、画像読み取り制御ユニット、画像記録制御ユニット、ファクシミリ制御ユニットおよび外部装置としてのパソコンを接続するインターフェイスユニットを備え、上記主制御部のもとに各ユニットを制御することにより、画像読み取り制御ユニットから出力する画像情報の記録する機能、パソコンで発生する画像情報の記録機能、画像読み取り制御ユニットから出力する画像情報をパソコンへ供給して画面表示またはファイルする機能、画像読み取り制御ユニットからの画像情報のファクシミリ送信機能、パソコンで発生する画像情報のファクシミリ送信機能、

ファクシミリ受信した画像情報の記録およびパソコン内にファイルする機能等、多種多様の機能を有する複合型画像処理装置に関する。

＜従来の技術＞

従来、画像処理システムとして、イメージスキャナ装置から読み取った画像情報をイメージプリンタ装置で記録したりコンピュータに供給するもの、または電話回線より受信した画像情報を内部メモリに一度記憶した後に記録するファクシミリ装置等が公知である。

＜発明が解決しようとする問題点＞

しかしながら、上記従来の画像処理システムでは、イメージスキャナ装置、イメージプリンタ装置、ファクシミリ装置、パソコンは夫々独立しているため、イメージスキャナ装置から読み取った画像情報またはパソコン等で発生した画像情報を、ファクシミリ送信する場合には単独で行うことができず、他の装置であるファクシミリ装置を使用しなければならぬので、非常に煩わしいという問題がある。また、ファクシミリ受信した画像情

報と別に発生した画像情報をパソコン等によつて合成編集ができないという問題があった。そこで、この発明の目的は、上記イメージスキャナ装置等の画像読み取りユニット、上記イメージプリンタ等の画像記録ユニットおよび上記ファクシミリユニットの各ユニットの個々の機能に加えて、各ユニット相互間の画像処理を可能にし、多種多様の画像処理を可能にした複合型画像処理を提供することにある。

＜問題点を解決するための手段＞

上記目的を達成するために、この発明の複合型画像処理装置は、制御情報によって画像読み取りを行う画像読み取り制御ユニットと、制御情報によって電話回線を介して画像情報を送受するファクシミリ制御ユニットと、制御情報によって画像情報の記録を行う画像記録制御ユニットと、外部装置としてのデータ処理装置に接続され、上記データ処理装置と制御指令および画像情報の送受を行なうインターフェイスユニットと、上記読み取り制御ユニット、ファクシミリ制御ユニット、画像

記録制御ユニットおよびインターフェイスユニット間を夫々接続するバスラインと、上記バスラインに接続して、外部の上記データ処理装置から上記インターフェイスユニットを介して送られる上記制御指令に基づいて上記各ユニット間の情報転送を行うと共に、上記各ユニットに上記制御情報を出力して各々個別に制御する主制御部とを一つの筐体内に収納したことを持つとしている。

＜作用＞

複合型画像処理装置(以下本装置と言う)をオンライン制御状態にした場合、上記本装置はインターフェイスユニットを介して接続している外部装置としてのデータ処理装置とは関係なく、本装置が独立して動作する次の機能が選択的に実行される。すなわち、上記本装置の制御部からの制御情報に従って画像読み取り制御ユニットから読み取った画像情報をデータバスを介して画像記録ユニットに供給してプリントするコピー機能、また、上記制御情報によって上記画像読み取り制御ユニットで読み取った画像情報を上記データバスを介し、

ファクシミリ制御ユニットによって電話回線を介して送信する一方、電話回線を介して受信した画像情報を画像記録制御ユニットによって記録するファクシミリ機能である。

さらに、上記本装置をオンライン制御状態にした場合、本装置に接続している外部装置としてのデータ処理装置から本装置に供給される制御指令に基づいて動作する次の機能が選択的に実行される。すなわち、上記制御指令によって、上記画像読み取り制御ユニットで読み取った画像情報をデータバスを介して外部装置としてのデータ処理装置に出力する画像入力機能、上記外部データ処理装置より入力された画像情報を画像記録制御ユニットで記録する画像印刷機能、電話回線を介してファクシミリ制御ユニットでファクシミリ受信した画像情報を上記外部データ処理装置に出力する一方、外部データ処理装置により入力される画像情報をファクシミリ制御ユニットによって電話回線を介して送信するファクシミリ送受信機能である。

同時に、上記オンライン時の機能である独立し

た機能(コピー機能、ファクシミリ機能)は、上記各ユニットに接続したバスラインを介して上記外部データ処理装置から供給される制御指令に基づいて行われ、また容易に上記各機能を合成・編集することができ多種多様の画像処理が行われる。

＜実施例＞

第1図は複合型画像処理装置と外部装置であるデータ処理装置としてのパソコンとを接続したシステムの外観図であり、1は複合型画像処理装置(以下本装置と言う)であり、本装置1には1ラインのCLDセンサーによって設置した原稿を読み取る、原稿静止形の画像読み取り制御ユニットとしてのイメージスキャナ2と、1ラインのサーマルヘッドと記録紙とによって画像情報を記録する、画像記録制御ユニットとしてのイメージプリンタ3と、電話回線4aに接続したファクシミリ制御ユニット4と、外部装置であるパソコン8をケーブル7を介して接続する、双方向パラレルインターフェイスユニット5とを内蔵している。また前面には、本装置1の動作のための操作パネル6が

8からの指令のみの下に動作する。また、オフライン時は、全てのキーが有効となりパソコン8からの指令を拒否する。中間調キー23は、原稿の読み取りを2倍読み取りするか、または予め決められた階調に応じて読み取りするかを指示するキーであり、中間調指示すると中間調ランプ23を点灯する。用紙送りキー24は、上記イメージプリンタ3の記録用紙を空送りするための指示キーである。原稿濃度調節スライドキー25は、原稿の読み取り濃度を調節するキーであり、読み取りレベルの白黒判定基準レベルを変化して調節する。26～28は各種報知ランプであり、電源ランプ26、各ユニットの障害ランプ27および上記イメージプリンタ3の用紙切れランプ28がある。

上記ファクシミリ機能に対する操作部30において、ファクシミリキー31は本装置1をファクシミリとして機能させるための指示キーであり、ファクシミリ機能に設定するとファクシミリランプ31が点灯する。受信キー32はファクシミ

設けられている。上記パソコン8はCRT表示装置10、キーボード装置9およびフロッピーディスク装置11で構成され、各種アプリケーションプログラムに従って画像処理またはデータ処理が行われる。上記パソコン装置8には、後述する予め取り決めた制御指令としての制御コマンドが記憶され、アプリケーションプログラムまたはキーボード入力によってこの制御コマンドを本装置1に供給して、上記制御コマンドに基づいて種々の画像処理の制御を行う。

第3図に示す上記操作パネル6は、本装置1全体に対する操作部20、ファクシミリ機能に対する操作部30およびコピー機能に対する操作部40から構成される。

操作部20においてオンラインランプ29は、パソコン8からの制御コマンドによって、本装置1を上記パソコン8に電気的に接続する指令が出されたとき、すなわち、オンライン時に点灯する。そして、オンライン時は、後述するように停止キー22以外の全てのキーが無効となり、パソコン

リのモードを受信モードに設定するキーであり、受信モードに設定すると受信ランプ32が点灯する。送信キー33はファクシミリのモードを送信モードに設定するキーであり、送信モードに設定すると送信ランプ33が点灯する。ファインキー34は読み取り密度(例えば4ライン/mm、7.7ライン/mm)を設定するキーであり、後者を設定すると、ファインランプ34が点灯する。通話キー35は、原稿送受信後に通話を要求する指示キーであり、このキーを押すと通話ランプ35が点灯する。

コピー機能に対する操作部40において、コピーキー41は、本装置1を原稿複写機能に設定するキーであり、原稿複写機能に設定するとコピーランプ41が点灯する。縮小率キー42は複写の縮小率を設定するキーであり、このキーを連続操作することによってA4→A4(等倍)、A4→B5、A4→A5のいずれかに設定され、それぞれランプ44、45、46が点灯する。コピー開始キー43は、コピー実行を指示するキーである。

停止キー22は、各ユニットの動作を途中で中止するための指示キーである。

第2図は本装置1を上記パソコンに接続した状態のブロック図である。50はメインCPU(中央処理装置)でありROM(リードオンリメモリ)51に予め記憶されているシステムプログラムに基づいて本装置の主制御を行う。このメインCPU50には、共通のデータバスDB、アドレスバスAB、制御バスCBが接続されている。上記各バスには、上記ROM51、RAM(ランダムアクセスメモリ)52、スレーブCPUを内在するCCD読み取り制御部54、同じくスレーブCPUを内在する画像データ符号化/復号化制御部69、スレーブCPUを内在するファクシミリ伝送制御部70、操作パネル6を接続するインターフェイス53、メカ制御/記録制御部67を接続するインターフェイス66、および上記パソコン8を接続するパラレルインターフェイス5がそれぞれ接続され、上記メインCPU50によって制御される。上記ROM51は各システムプログラムの他

走査方向に延長したCCDセンサー58が設けられ、モータ59の駆動によって副走査方向に移送される。上記CCDセンサー58の近傍には、一体的に形成された図示しない蛍光灯が設けられ、この光源が原稿面を照射して、その反射光が上記CCDセンサー58に導かれる。

上記CCDセンサー58は、上記CCD読み取り制御部54に基づいて駆動されるドライバー57からのタイミング信号によって読み取り動作を行う。CCDセンサー58からのアナログ信号は、アナログ調整回路56に供給されて、予め決められた濃淡レベルすなわちスライスレベルに応じてA/D変換を行い、デジタル化した画像データを上記CCD読み取り制御部54に供給する。また、中間調設定時は、予め決められた中間調レベルに応じて同様にA/D変換して出力する。さらに、上記CCD読み取り制御部54には、1ライン相当のラインメモリ55が接続され、上記画像データを記憶して上記データバスDBに出力する。また、メカ制御/記録制御部67のメカ制御部はモ

に上記パソコン8とのデータ転送を行うためのコマンド解析部を備えている。また、上記RAM52には、第4図に示すごとく本装置1の処理状態を現わすステータスエリア100と、各機能部の細部設定値を格納する機器設定エリア201~205と、フラッゲエリア206と、各種バッファ等でなるワークエリア300で構成されている。

CCD読み取り制御部54は、ファクシミリ機能における送信モード時、コピーモード時、スキャナモード時に作動される。また、メカ制御/記録制御部67はスレーブCPUを内在し、上記CCD読み取り制御部54に対する上記コピー、スキャナ、送信の各モード時とプリンタモード時に駆動される。上記CCD読み取り制御部54とメカ制御/記録制御部67からなる構成は、一般のファクシミリ装置と略同一である。

イメージスキャナ2の原稿走査面60はガラス等の透明板であり、この上面に読み取り原稿が載置される。原稿の上に図示しない白色の原稿押さえ板が設けられる。上記透明板60の下には、主

ータ59を駆動してCCDセンサー58を1ラインごとに副走査方向に移送し、1ラインごとに順次読み取り動作を行い、また、所定量のスキップ動作を行なう。上記メカ制御/記録制御部67は上記メカ制御部に加えて、イメージプリンタ3の制御部を兼用しており、内部に1ライン分の記録データを記憶するラインバッファを設けている。

上記イメージプリンタ3は、主走査方向に延長した1ライン印字のサーマルヘッド63が設けられ、このサーマルヘッド63は記録紙65をはさんで、モータ64によって副走査方向に回転するプラテンに圧接している。このモータ64は、上記メカ制御/記録制御部67の記録制御部の指令に基づいて、1ラインの画像データが転送されるごとに上記プラテンを回転駆動する。上記サーマルヘッド63はドライバー62によって駆動され、予め上記メカ制御/記録制御部67の記録制御部67に供給されて内部の上記ラインバッファに記憶されている画像データに基づいて記録される。なお、上記記録される画像データは、2値化され

たデジタルデータとしてデータバスDBよりインターフェイス66を介して供給される。

上記画像データ符号化/復号化制御部69はCCITT規格のMH/MR方式の圧縮コード化された画像データを2進化イメージデータに符号化する制御、およびその逆の復号化を行うための制御部であり、この制御は一般的なファクシミリ装置において知られている。この画像データ符号/復号化制御部69は、ファクシミリ機能の場合、パソコン8にイメージスキャナ2で読み取った画像データを圧縮して供給する場合、パソコン8より供給された圧縮データをイメージプリンタ3で記録する場合、およびパソコン8からの2進化イメージデータをファクシミリ送信する場合に駆動される。従って、上記画像データ符号/復号化制御部69は、符号化/復号化のアルゴリズムとバッファ等で構成されている。

ファクシミリ送受信のためのファクシミリ制御ユニット4は、一般的なファクシミリの伝送制御系と略同一であり、ファクシミリ伝送制御部70は、

有するRAMまたはROMに記憶されるプログラムに基づいて、本装置1に対して予め決められた種々のコマンドを送出して制御し、操作者はこのパソコン8を操作することによって上記各ユニットの機能を組み合わせて多種多様の機能を実現する。すなわち、本装置1から供給された画像データを上記パソコン8のCRT表示装置に出現させたり、フロッピーディスク装置にファイルしたり、あるいは、パソコン8のプログラムに基づいて作成した画像データを本装置1に供給して記録またはファクシミリ送信することが可能となる。

インターフェイス53は第3図の操作パネル6を接続するインターフェイスであり、この操作パネル6には、上述のように各キーおよび報知ランプ回路を備えている。

上述の本装置1の機能としては次のような機能がある。

1. 本装置1が独立して動作する機能(オンライン)。

#### (1) コピー機能

スレーブCPUを内在しCCITT規格に基づいた伝送手順の制御を行い、この伝送手順に基づいて、データバスDBとのデータ交換を行う。このファクシミリ伝送制御部70はモデム71、NCU72を介して電話回線4aに接続している。自動ダイヤルユニット73は、パソコン8等から供給されるダイヤル情報を基づいて回線接続を行う。また、NCU72には手動ダイヤルのための電話機が接続されている。

本装置1の外部装置であるパソコン8を接続するパラレルインターフェイス5は、内部に例えば1バイト構成のバッファを設けている。上記パラレルインターフェイス5には上記パソコン8から各種制御コマンドおよびデータが供給され、上記各ユニット相互間のデータ転送が行なわれる。上記パソコン8は一般的なパソコンと実質的に同一であり、内部パラレルインターフェイスと上記本装置1側のパラレルインターフェイス5とをケーブル7を介して接続されている。パソコン8は本装置1を1つのデバイス装置として駆動し、内部に

第3図のコピーキー41によって動作し、上記イメージスキャナ2で読み取った原稿の画像データを上記イメージプリンタ3に供給して、プリントする。

#### (2) ファクシミリ機能

第3図のファクシミリキー31の操作によって、画像読み取りユニットとしての上記イメージスキャナ2によって読み取った画像データを、上記画像データ符号化/復号化制御部69により符号化して更にファクシミリ制御ユニット4によって電話回線を介して送信する機能。および電話回線4aを介して受信したファクシミリ情報を上記画像データ符号/復号化制御部69により復号化して、上記イメージプリンタ3で記録する機能。

2. 本装置1がパソコン8の制御に基づいて動作する機能(オンライン)。

#### (1) 画像入力機能

上記イメージスキャナ2によって読み取った画像データをパソコン8に出力する機能。

パソコン8はこのデータをCRT表示装置に表示したりフロッピーディスクにファイルしたりする。

(2) 画像印刷機能

上記パソコン8より出力される画像データをイメージプリンタ3にて記録する機能。

(3) ファクシミリ入力機能

ファクシミリ受信した画像データをパソコン8に出力し、CRT表示装置に表示したりフロッピーディスクにファイルしたりする機能。

(4) ファクシミリ送信機能

上記パソコン8より出力される画像データを電話回線4aを介してファクシミリ送信する。

(5) 画像変換機能

上記パソコン8より出力される2値データ(イメージデータ)または圧縮データを、上記画像データを符号/復号化制御部69により圧縮データまたは2値データに変換する。

始を指令。

4. 通話要求コマンド。

ファクシミリ機能時の動作完了後に電話通話を要求する指令。

5. 次頁要求コマンド。

パソコン8の画像データを複数頁分ファクシミリ送信する際の次頁要求指令。

6. スキャナ送りコマンド。

イメージスキャナ2の空送り量を設定する指令。

7. プリンタ制御コマンド。

改行、改頁等のイメージプリンタ3に対する指令。

8. 機器セットコマンド。

本装置1全体、ファクシミリ、イメージスキャナ、イメージプリンタの各機能に対する条件設定をする指令。(一部のみ記載)

(1) 装置全体

①パソコンとのデータ転送形式(圧縮の有無、MH/MR方式)の設定。

(6) 上記オフライン時の機能である独立した機能(コピー機能、ファクシミリ機能)をパソコン8の制御に基づいて動作する機能。

また、パソコン8からの制御に基づいて本装置1を動作させる制御コマンドを次に示す。

1. ステータス要求コマンド。

パソコン8が本装置1に対して制御を行う時に本装置1の状態をレポートすることを要求するコマンドであり、このコマンドに対して本装置は(1)リモート制御の可否(2)エラー有無(3)動作完了の有無(4)ファクシミリ受信時の次頁要求(5)ファクシミリ動作時の通話要求(6)イメージプリンタ用紙切れについて応答する。これらのステータスデータは第4図ステータスエリア100に格納されている。

2. ストップコマンド。

制御の終了を指示する指令。

3. データ送受信要求コマンド。

データの送受に先立ってのデータ送受開

②各キーの有効性の設定(キーマスク)。

(2) ファクシミリ

①伝送形式(MH/MR)の設定。

②伝送密度(スタンダード4ライン/xx、ファイン1.7ライン/xx)の設定。

③受信時間(5ms/10ms/20ms)の設定。

④速度(4800bps/2400bps)の設定。

(3) イメージスキャナ

①中間調の有無。

②スキャナの読み取り範囲設定。

③縮小率設定。

(4) イメージプリンタ

①主走査方向長の設定。

②改行量の設定。

③頁当たりの行数設定。

9. 入出力設定コマンド。

入力機器、出力機器を何にするかを設定する指令。具体的には、入力としての

パソコン8、ファクシミリ4、イメージスキャナ2に対する、出力としてのパソコン8、ファクシミリ4、イメージプリンタ3の組み合わせを設定するものであり、上記コマンドのコードと共に、第5図に示すコード化された設定値によって決定される。

以上の設定値は、上述のように第4図に示すようにRAM52の各エリアに格納され、動作指令に従ってこれらの設定値が読み出され各ユニットへ供給される。

上記構成の本装置は次のように動作する。

第6～14図は本装置の動作を示す一連のフローチャートであり、以下この図に従って動作を説明する。(以下、パソコンをホストと言う)

#### 1. 初期設定

本装置1に電源が投入されると、第6図が実行される。

ステップS1で、電源投入により各回路素子および入力部を初期(リセット状態)にするイニシャ

- ①中間調 無、
- ②スキャナ読み取り範囲 先頭位置よりA4 サイズ幅、
- ③縮小率 A4/A4(等倍)。

ステップS2で、RAM52のエリア204にプリンタ機能の初期設定が行われる。例えば、

- ①主走査方向長 A4幅、
- ②改行量 30ドット/行、
- ③頁行数 66行。

RAM52のエリア205に対する入出力の設定は無し。

ステップS3で、ローカル(オフライン)制御可能にするために、上記RAM52のエリア206のオンラインフラッグをオフして、初期設定を完了する。

ステップS4で、プリンタ用紙切れの判定が行なわれ、プリンタの用紙切れすなわち用紙未装着の場合は、

ステップS5で、用紙切れステータスをオンにして、第3図のランプ28を点灯する。

ライズ処理が実行される。

ステップS6～S9の処理によって第4図のRAM52エリアに予め決められた初期の設定値が設定される。

ステップS10で、上記RAM52のエリア201に本体の初期設定が行われる。例えば、

- ①ホスト8とのデータ転送形式を、送受いずれもMHコードによる圧縮コードに設定、
- ②全てのキーの入力を可能にするためキーマスク解除。

ステップS11で、RAM52のエリア202にファクシミリ機能の初期設定が行われる。例えば、

- ①伝送形式 MHコード、
- ②密度 フайнモード(7.7ライン/mm)、
- ③受信時間 20ms(1ラインの最小送信時間)、
- ④速度 4800bps(モデム71の送信レート)。

ステップS12で、RAM52のエリア203に、スキャナ機能の初期設定が行われる。例えば、

ステップS13～S16で、本装置1の操作パネル6のキー操作が無く、ホスト8からの受信が無い場合にはステップS17に戻り、待機状態になる。

以後、本装置1のキー操作あるいはホスト8の指令によって、ローカル制御(オフライン制御)あるいはリモート制御(オンライン制御)が実施される。

#### 2. ローカル制御(オフライン制御)の場合

待機状態において、第3図に示す操作パネル6のいづれかのキーの操作によって、第7図のフローチャートが実行される。

ステップS17で、キーマスクが設定されていると、その設定されたキーの取り込みが禁止される。

ステップS18～S21で、ホスト8の制御にもとづいて、本装置1がオンライン状態にある時は、停止キー(ストップキー)22を除いてキー操作の取り込みが禁止される。

以下、待機状態において操作される第3図の各キーに従って動作を説明する。

##### (1) 停止キー

ストップキー22が操作されると第7図1-1より第8図に移行して処理が実行される。

ステップS<sub>10</sub>で、現在実行中の処理が停止され、各制御部に対して終了の指令を転送する。各制御部はこの指令により、次の指令があるまで待機状態を保持する。また、ホスト8にもとづく処理中の場合においても、上記と同様に制御コマンドの終了であることを認識して停止処理が行われる。

ステップS<sub>11</sub>で、オンラインフラッグをオフにする。(オンラインフラッグがオフの場合は変化しない)

ステップS<sub>12</sub>で、動作完了したことを示す完了フラッグをオンにする。

以上の処理を行った後に再び、このルーチンが分岐した元のルーチンへ戻る。本例では、第6図の待機ルーチンへ戻る。

#### (2) 用紙送りキー

用紙送りキー24を操作すると、第6図待機状態より第7図1-2に分岐し、第8図1-2のルーチンが実行される。

例では改行指令)を送出する。この指令によって、メカ制御/記録制御部67は上述の動作を行いモータ64を駆動する。

ステップS<sub>13</sub>、S<sub>14</sub>で、モータ64を駆動中に、用紙切れの検知およびホスト8からの受信有無の判定を行う。その結果用紙切れが検知されると、

ステップS<sub>15</sub>で、用紙切れステータスをオン(ランプ28点灯)にし、

ステップS<sub>16</sub>で、リモートステータスをオンにし、

ステップS<sub>17</sub>で、完了ステータスをオンにして動作を終了する。

ステップS<sub>18</sub>で、ホスト受信を検知すると、第12図②へ分岐する。

ステップS<sub>19</sub>で、上記の動作を行った後に再び上記用紙送りキー24が操作され続いていると上記動作ステップS<sub>13</sub>～S<sub>15</sub>が繰り返され、第3図の用紙送りキー24の操作が中止されると動作を終了して、元のルーチンへ戻る。

以上の動作によって操作者の必要とする墨の記

ステップS<sub>20</sub>で、上記第6図の待機ルーチンにおいて用紙切れが検出され、用紙切れステータスにある場合は、元のルーチンへ戻され実行されない。

ステップS<sub>21</sub>で、用紙切れが検出されていなければ、リモートステータス(第4図RAM52のエリア100)をオフにすることによってホスト8からの制御を禁止する。

ステップS<sub>22</sub>で、本装置1が動作中であることを示すために完了ステータスをオフにする。

ステップS<sub>23</sub>で、第4図のRAM52のプリンタに関する設定値を格納するエリア204より、予め設定されている設定値(本例では改行量)を上記メカ制御/記録制御部67に供給する。このメカ制御/記録制御部67は、上記設定値に基づき、続いて指令される改行指令によって記録紙の送り量が決められ、この送り量にもとづいて、モータ64の回転量を決定する。

ステップS<sub>24</sub>で、上記設定値を供給した後に、上記メカ制御/記録制御部67に対して動作指令(本

録紙の排出が行なわれる。

#### (3) 中間調キー

中間調キー23を操作すると、上記待機ルーチンより第8図1-3へ分岐する。

ステップS<sub>25</sub>で、第4図のRAM52のスキャナ設定エリア203を中間調モードに設定して、元のルーチンへ復帰する。

この中間調モード設定は後の画像読み取り指令で、CCD読み取り制御部54に供給され、予め固定的に決められた、各画素に対して複数レベルのスライスレベルが決定され、このレベルに応じたデジタルデータをアナログ調整回路56に供給する。CCD読み取り制御部54は、このアナログ調整回路56からのデジタル値に応じて、例えば擬似中間調として、画素に対する黒レベル配置を決定して、読み取りデータとして出力する。この手法は一般に知られている。

#### (4) コピーキー、縮小率キー、コピー開始キー

コピーキー41を操作すると、上記待機ルーチンより、第8図1-4へ分岐してコピーモードに

設定される。

ステップS<sub>11</sub>で、この操作時に用紙切れステータスがオンである場合は、元のルーチンへ復帰して、キー取り込みを禁止する。

ステップS<sub>12</sub>で、用紙切れステータスがオフになると、リモートステータスをオフにしてホスト制御を禁止し、

ステップS<sub>13</sub>で、完了ステータスをオフにして動作中であることを示す。

ステップS<sub>14</sub>で、第4図のRAM52の入出力設定エリア205に、第5図の予め決められた1バイトの入出力設定コード"47"を格納する。

このコピー機能の場合の設定コードは、入力部として上記イメージスキャナ2を選択し、出力として上記イメージプリンタ3を選択することを意味し、すなわち、イメージスキャナ2によって読み取られた画像データをイメージプリンタ3に出力して記録して、いわゆるコピー機能を実現する。

ステップS<sub>15</sub>で、コピーフラッグをオンにして、次のキー操作を待機するために元のルーチンへ復

を操作すると、第6図の待機ルーチンより、第9図1-6へ分岐する。

ステップS<sub>16</sub>で、このキー操作時にコピーフラッグがオフであれば、元のルーチンへ復帰して、このキーの取り込みを禁止する。コピーフラッグがオンの時は、上述ステップS<sub>15</sub>の入出力設定に基づいてステップS<sub>17</sub>以降が実行される。

ステップS<sub>18</sub>で、CCD読み取り制御部54に、上記RAM52のスキャナ設定エリア203の設定値を供給する。

ステップS<sub>19</sub>で、メカ制御/記録制御部67に、上記スキャナ設定値と共に、プリンタ設定エリア204の設定値を供給する。

ステップS<sub>20</sub>で、両制御部54, 67に対して、動作指令を転送することによって、読み取りおよび記録動作が行なわれる。

ステップS<sub>21</sub>で、イメージスキャナ2から出力される読み取りデータは、上記入出力設定値に従って、イメージプリンタ3に各読み取りラインごとに供給し、予め決められた読み取り範囲(第4図

潜する。

以上の操作に続いて操作者は、縮小率キー42またはコピー開始キー43を操作する。また、解除する場合は上述の停止キー22を操作する。縮小率キー42を操作すると、第9図1-5へ分岐する。

ステップS<sub>22</sub>で、上述のコピーフラッグがオフでなければ、元のルーチンへ復帰して、このキーの取り込みを禁止する。

ステップS<sub>23</sub>～S<sub>26</sub>で、RAM52のスキャナ設定エリア203の縮小率設定を参照し、現在の設定値がA4/A4, A4/B5, A4/A5のいずれであるかを判定し、A4/A4であればA4/B5の縮小率、A4/B5であれば、A4/A5の縮小率、A4/A5であればA4/A4の等値に再設定されて、上記エリア209に格納され、元のルーチンへ復帰する。これらの設定値に応じてランプ44, 45, 46(第3図)のいずれかを点灯する。

以上の条件設定された後に、コピー開始キー43

のRAM52のスキャナ設定エリア203を終了するまで繰り返される。

ステップS<sub>27</sub>, S<sub>28</sub>で、この間に用紙切れ検知およびホスト受信検知を行い、

ステップS<sub>29</sub>で、用紙切れが検知されると、停止キー操作と同様に処理停止されて、

ステップS<sub>30</sub>で、コピーフラッグをオフにして、第8図のステップS<sub>31</sub>へ移行する。

ステップS<sub>32</sub>で、ホスト受信が検知されると、後述の第12図②へ移行する。

ステップS<sub>33</sub>で、上記ルーチンの終了が確認されると、

ステップS<sub>34</sub>で、コピーフラッグをオフにし、

ステップS<sub>35</sub>で、完了ステータスをオンにし、

ステップS<sub>36</sub>で、リモートステータスをオンにした後、元のルーチンへ復帰する。

ステップS<sub>37</sub>でのユニット間のデータ転送処理については、第11図△に示すように動作される。すなわち、

ステップS<sub>38</sub>で、第4図のRAM52の入出力

設定エリア205より設定値(本例では“47”)が読み出される。この設定値の1バイトのコードにより入力部および出力部が選択され、

ステップS<sub>11</sub>で、本例の入力部であるCCD読み取り制御部54に転送指令を送出する。この制御部54は、ドライバ57:アナログ調整回路56を駆動し、1ラインのデータの読み取りが行なわれ、このデジタル化したデータは内部のバッファにラッピングされる。この時、メカ制御/記録制御部67によって、次のラインへCCDセンサ58を移行させるべく、モータ59が駆動される。更に、上記バッファにラッピングしたデジタルデータはデータバスDBを介して、メカ制御/記録制御部67に供給される。この時、プリンタが何らかの動作中(前ラインの記録中)である場合には待機され、メカ制御/記録制御部67内のラインバッファに格納される。この両者間のデータ設定は、例えばDMAコントローラ等によって、直接的に転送してもよく、またRAM52のワークエリア300を介在させてもよい。以上の動作は時分割的に実

行される。

ステップS<sub>12</sub>で、ファックスフラッグがオフの場合、待機ルーチンへ復帰してこのキーの取り込みが禁止される。

ステップS<sub>13</sub>で、第4図のRAM52のファクシミリ設定エリア202のノーマル/ファイン設定値が参照され、ノーマルモードであれば、

ステップS<sub>14</sub>で、このエリア202をファインモードに再設定し、またファインモードであれば、

ステップS<sub>15</sub>で、ノーマルモードに再設定して、元の待機ルーチンに復帰する。このとき、ファインモードで設定されると、ランプ34が点灯される。

通話キー35が操作されると上記待機ルーチンより第10図1-9へ分岐する。

ステップS<sub>16</sub>で、ファックスフラッグがオフであれば、再び待機ルーチンへ復帰して、キーの取り込みが禁止される。

ステップS<sub>17</sub>で、ファックスフラッグがオンであれば、第4図のRAM52のステータスニリア

行される。

なお、縮小率が縮小にある時は、CCD読み取り制御部54において、主走査方向及び副走査方向に所定の間引きを行って、読み取り処理を行えばよく、イメージプリンタ3がこの間引かれたデータを記録することによって、縮小された記録が成される。なお、拡大においても同様に行なうことが出来る。

(5) ファクシミリキー、ファインキー、通話キー、送信キー、受信キー、

ファクシミリキー31を操作すると、上記待機ルーチンより第10図1-7へ分岐する。

ステップS<sub>18</sub>、S<sub>19</sub>、S<sub>20</sub>で、ファックスフラッグをオンにし、リモートステータスをオフにし、完了ステータスをオフにして、一般のファクシミリ装置と同様にファクシミリモードに設定される。その後、元の待機ルーチンに復帰され、ファインキー34、通話キー35、受信キー32、送信キー33のいずれかの操作が実行され取り込まれる。

ファインキー34が操作されると、第10図1

100の通話ステータスをオンにする。

この通話は、通信の最後に取り入れられて相手局に通話要求する。以上の条件設定後、送信キーまたは受信キーが操作され動作が開始される。この操作は、送信時には回線接続完了後行なわれ、また受信時には着信による回線接続後に行なわれる。

送信キー33が操作されると、上記待機ルーチンより第11図1-10が実行される。

ステップS<sub>21</sub>で、ファックスフラッグがオフになっている場合は、再び待機ルーチンへ復帰されてキー取り込みが禁止される。さらに、ファクシミリ伝送制御部70からの回線接続が完了しているという識別データに基づいて、ステップS<sub>22</sub>以降が実行される。

ステップS<sub>23</sub>で、第4図のRAM52の入出力設定エリア205に設定コード“46”が格納される。つまり、この設定コード“46”は第5図に示すように、入力部としてイメージスキャナ2に必要とするユニットを、また出力部としてファク

シミリ通信に必要とするユニットを選択する。

ステップS<sub>104</sub>で、入出力設定エリア205の設定値に従って、CCD読み取り制御部54とメカ制御/記録制御部67へ上述のコピーモード時と同様にRAM52のスキャナ設定エリア203の設定値およびファクシミリ設定エリア202のノーマル/ファイン設定値を転送する。

ステップS<sub>105</sub>で、画像データ符号/復号制御部69へRAM52のファクシミリ設定エリア202の転送形式(圧縮コード)を転送して、さらに、

ステップS<sub>106</sub>で、ファクシミリ伝送制御部70へファクシミリ設定エリア202の各設定値を転送する。

この設定によって、CCD読み取り制御部54は読み取り密度4/枚または8/枚が設定され、密度に応じた解像度の読み取りを行える。

また、画像データ符号/復号制御部69は、転送形式が例えばMHコードに設定されていれば、1ラインの2値イメージデータをランレンジス符号に変換するように動作される。また、ファクシ

バイトごとにファクシミリ伝送制御部70に転送される。そして、上記の動作は1ラインごとにステップS<sub>107</sub>～S<sub>110</sub>を繰り返すことによって、繰り返し実行され、その間に、

ステップS<sub>108</sub>、S<sub>109</sub>、S<sub>110</sub>で、ホスト受信、キー操作、およびCCD読み取り制御部54およびファクシミリ伝送制御部70からの終了の判定が行なわれる。

この時、ホスト受信が検知されると、後述の第12図②へ分岐する。1頁の伝送が終了するとRAM52の通話ステータスのオンに基づく通話モードの処理がファクシミリ伝送制御部70によって実行され、終了すると終了の識別コードを出力し、このコードによって、終了が確認される。

ステップS<sub>111</sub>、S<sub>112</sub>、S<sub>113</sub>で、通話ステータスがオフにされ、リモートステータスがオンにされ、完了ステータスがオンにされて、再び上記待機ルーチンへ復帰して処理を完了する。

受信キーが操作されると、第11図I-11が実行される。

ミリ伝送制御70は、設定値によってCCITT規格に基づく伝送手順に従って、画像データを回線4aに出力するように制御可能となる。

ステップS<sub>107</sub>で、各制御部に対して動作指令を出力することにより、ステップS<sub>108</sub>で入出力設定の設定コードに応じて、第11図△に示すごとくユニット間のデータ転送が、データバスDBを介して行なわれる。

ステップS<sub>108</sub>で、このデータ転送は、第11図△を2回動作することにより行なわれる。すなわち、CCD読み取り制御部54(第1入力部)からの1ラインの画像データが、データバスDBを介して、画像データ符号/復号制御部69(第1出力部)に転送してMHコード化し、さらに、MHコード化されたデータが、画像データ符号/復号制御部69(第1出力部、第2入力部)よりデータバスDBを介してファクシミリ伝送制御部70(第2出力部)に転送される。したがって、イメージスキャナ2によって読み取られた画像データ(2値データ)は、ラインメモリ55に記憶されて1

ステップS<sub>109</sub>で、ファックスフラッグがオフ、あるいは、

ステップS<sub>110</sub>で、用紙切れステータスがオンであれば、待機ルーチンへ復帰してキーの取り込みを禁止する。

また、送信時と同様に回線接続が成されていなければ実行されない。

ステップS<sub>111</sub>で、これらの条件が満足されていると、RAM52の入出力設定エリア205に設定コード"44"が格納され、入力部としてファクシミリ4、出力部としてイメージプリンタ3を設定する。

ステップS<sub>112</sub>で、メカ制御/記録制御部67にRAM52のプリンタ設定エリア204の設定値が転送される。

以下、第11図I-10の送信ルーチンにおけるステップS<sub>113</sub>以降を実行する。

ステップS<sub>114</sub>で、送信時と同様にユニット間データ転送処理(第11図△を2回動作)が行われる。すなわち、ファクシミリ伝送制御部70(第

1入力部)から回線40より受信したMHコードのデータが画像データ符号/復号制御部69(第1出力部)に転送され、さらに、この画像データ符号/復号制御部69によって2値データに復号された画像データは、画像データ符号/復号制御部69(第2入力部)よりメカ制御/記録制御部67(第2出力部)へ転送される。そして、この動作は1ラインごとにステップS<sub>101</sub>～S<sub>103</sub>を繰り返すことによって繰り返し実行され、その間に、

ステップS<sub>100</sub>で、各ラインの伝送中に用紙切れが検知されると、

ステップS<sub>101</sub>で、ファクシミリ伝送制御部70にエラー識別コードを供給してエラー処理を行うと共に、エラーステータスをオンにし(ランプ21点灯)、

ステップS<sub>103</sub>で、用紙切れステータスをオンにして終了する。

以上の説明のように、第3図の操作パネル6のキー操作によってホスト8と独立して、種々処理が行なわれる。

ステップS<sub>201</sub>で、RAM52のステータスエリア100が読み出され、1バイトのデータとしてパラレルインターフェイス5を介して、

ステップS<sub>202</sub>で、ホスト8へ供給する。その後、元の待機ルーチンへ復帰する。

ステップS<sub>203</sub>で、このステータス要求コマンド以外のコマンドが転送され、RAM52のリモートステータスがオフの場合は、

ステップS<sub>204</sub>で、BREAKデータ(1バイト)をパラレルインターフェイス5を介して、ホスト8へ転送する。ホストはこのBREAKデータによって、誤ったコマンドを転送したことが確認される。

#### (2) ストップコマンド。

ステップS<sub>300</sub>～S<sub>303</sub>で、上記ホスト受信の待機ルーチンでホスト8よりの信号がストップコマンドであることを検出する(リモートステータスオンの時)。

ステップS<sub>304</sub>で、オンラインフラッグが

#### 3. リモート制御(オンライン制御)の場合

次に、上述の第6図における待機状態において、ホスト8からのコマンドに基づいて実行される本装置1の処理について説明する。

##### (1) ステータス要求コマンド。

このコマンドは、ホスト8の所定のプログラムに基づいて、本装置1を制御する場合に本装置1の状態を確認するための指令であり、本装置1が動作中であっても応答するようになっている。

第6図のステップS<sub>10</sub>の待機ルーチン、第8図1～2のステップS<sub>20</sub>の待機ルーチン、第9図1～6のステップS<sub>30</sub>の待機ルーチン、第11図1～10のステップS<sub>40</sub>の待機ルーチン、後述の第13図2～2のステップS<sub>50</sub>の待機ルーチン、第13図2～3のステップS<sub>60</sub>の待機ルーチンにおいてホスト受信があると、第12図②へ分岐する。

ステップS<sub>50</sub>で、このステータス要求コマンドが受信されると、

オフの時、すなわちホスト8の制御下で動作していない時は、誤りコマンドであり、ステップS<sub>50</sub>に戻りBREAK応答する。

ステップS<sub>50</sub>で、オンラインフラッグがオンの時は、上述の停止キー22の操作と同様に処理中止を行い、

ステップS<sub>500</sub>、S<sub>501</sub>、S<sub>502</sub>で、オンラインフラッグをオフに、リモートステータスをオフに、完了ステータスをオフにして、本装置の処理を中止する。

ステップS<sub>503</sub>で、上記以外のコマンドが受信されると、コマンドのコード形式およびコマンド手順の整合性のチェックを行い、

ステップS<sub>504</sub>で、不整合時、例えばデータ転送に先立って必要なコマンド転送がなかった場合等にはBREAKデータを応答する。

ステップS<sub>505</sub>で、これらの条件が満足されると、オンラインフラッグがオンにされ、各コマンドに応じた制御が実行される。

コマンドの手順は、予め決められており、

データ転送に先立って、各機能における初期設定すなわちRAM52の設定エリア201～204の設定値を機器セットコマンドと共にRAM52に転送する。さらに、本装置1がデータ処理を行う入力部および出力部の選択を行う入出力設定コマンドと1バイトの設定コード(第5図)とが転送される。

ホスト8のデータ送受に際しては、データ送受コマンドが転送される。これらのコマンド転送に対して、本装置1はACK(可)データまたはNAK(不可)データを応答し、ホスト8はこの応答に基づいて次のコマンド転送の準備を行う。

#### (3) 機器セットコマンド受信。

このコマンドは本体、ファクシミリ、スキャナ、プリンタの識別を行う1バイトのデバイスコードと、複数バイトのRAM52の設定エリア201～204のそれぞれの設定値とからなり、このコマンドが受信されると、第13図2-1が実行され、

よって、第13図2-2へ分岐する。

ステップS11で、完了ステータスをオフにし、

ステップS12で、転送された送り量の設定値をメカ制御/記録制御部67へ供給し、CCDセンサ58の移動指令を供給する。メカ制御/記録制御部67は、この送り量に応じて、モータ59を駆動する。

ステップS13で、この動作中に、ホスト受信及びスキャナ"Busy"の検知が行なわれ、ホスト受信が検知されると上述の第12図②へ分岐する。

ステップS14で、送り動作が完了するとメカ制御/記録制御部67より"Busy"信号がオフにされ、動作完了の信号が供給され、コマンドの実行が完了される。そして、

ステップS15で、完了ステータスをオンにし、

ステップS16で、ホスト8へACKデータを転送する。その後、上記待機ルーチンへ

ステップS17で、上記デバイスコードに基づいて、前述の設定値がRAM52のデバイスコードで指定された機器の設定エリア201～204のどれかに格納される。この格納後、パラレルインターフェイス5を介して、ホスト8へACKデータを転送し、待機ルーチンへ復帰する。

ステップS18で、ホスト8はこのACKデータに基づいて次のコマンドを転送すべく準備される。

ホスト8は、他のデバイスに対して設定する場合この機器セットコマンドを再度転送する。

#### (4) スキャナ送りコマンド受信。

このコマンドはイメージスキャナ2より画像読み取り処理を行う際に、読み取り不要な範囲をスキップさせるために、CCDセンサ58を移動させるための指令であり、このコマンド(1バイト)について、複数バイトの送り量値を転送する。このコマンドの受信に

復帰する。

ホスト8は、このACKデータによって、上記コマンドが実行されたことを確認して次のコマンド転送の準備を行う。

#### (5) 入出力設定コマンド受信。

ホスト8は所定のプログラムに従って、第5図に示すいづれかの入出力設定コードをRAM52に転送する。この1バイトでなるコマンドに引き続き、1バイトの設定コードを送出する。このコードは、RAM52の入出力設定エリア205に格納される。

① イメージスキャナ2より画像データを読み取り、ホスト8へ転送する機能。

この処理に先立って、ホスト8は上述の機器セットコマンドを転送して、本体、スキャナの設定値の設定を行った後に、以下の処理が行なわれる。

入出力設定コマンドと共に設定コード45を転送する。この設定コードは、入力部として、イメージスキャナ2、出力部

## 特開昭63-87858 (14)

としてホスト8を選択することを意味する。このコマンドによって、第14図2-6が実行される。

ステップS<sub>110</sub>で、完了ステータスがオンであるか判定される。何らかの動作中であるならばオフであり、

ステップS<sub>110</sub>で、ホスト8へNAKデータを転送し、ホスト8は準備完了していないことを確認する。

ステップS<sub>110</sub>で、完了ステータスがオンであれば上記設定コードをRAM52の入出力設定エリア205に格納し、

ステップS<sub>111</sub>で、この設定コードに対応する制御部へRAM52の設定値を転送する。すなわち、RAM52のスキャナ設定エリア203の設定値がCCD読み取り制御部54およびメカ制御/記録制御部67に転送され、さらにRAM52の本体設定エリア201のホスト転送フォーマットがMHコードの圧縮を示す場合は、画像

DD読み取り制御部54およびメカ制御/記録制御部67は上述のコピー mode と同様に画像読み取りを実行し、ラインメモリ55に1ラインのデータが格納され、読み取りが完了する。

ステップS<sub>112</sub>で、完了が確認されると、ステップS<sub>113</sub>で、ホスト8へACKデータを転送する。

ステップS<sub>114</sub>で、前述の第11図△に従って、各制御部間のデータ転送が行われる。この例では、出力部としてホスト8が選択されており、パラレルインターフェイス55に対して出力する。このとき、本体設定エリア100がMHコードを設定していると、CCD読み取り制御部54より画像データ符号/復号制御部69に出力し、MHコードに符号化されてホスト8へ転送される。

ホスト8は、2値データよりMHコードの方がデータ容量が少ないため、フロッピ

タ符号/復号制御部69にMHコードに変換することを指示する。

ステップS<sub>115</sub>で、この設定が完了するとホスト8へACKデータを転送する。ホスト8は、このACKデータによって設定完了したことを確認し、次にデータを受信する準備を行い、準備完了するとデータ送受要求コマンドを転送する。このコマンドを受信すると、第14図2-7を実行する。

ステップS<sub>116</sub>で、イメージスキャナ2が動作中であるならばCCD読み取り制御部54から"Busy"信号が送出されており、ホスト8にNAKデータを転送する。ホストは、このNAKデータを受信すると、再びデータ送受要求コマンドを送出し、送信可能になるまでこの操作を繰り返す。送信可能になると、

ステップS<sub>117</sub>に移行し、RAM52の入出力設定エリアの設定コードに従って、設定ユニットに動作指令を供給する。CC

ーディスク装置等にファイルする場合に、この設定を行う。また、CRTディスプレイ等に表示する場合は、2値データに設定する。この動作後再び待機ルーチンへ復帰し、次のデータ送受コマンドが受信されると次のラインの画像データの読み取りが行なわれ、この動作が繰り返される。

ホスト8は、所定量のデータが読み取られると、前述のステップコマンドを転送して、制御を中止する。

この制御によって、本装置1より画像データを読み取り、ホスト8のCRTディスプレイに出力したりあるいは、ホスト8のフロッピーディスク装置へファイルすることが可能となる。

② ホスト8で発生した画像データを記録する機能。

ホスト8のプログラムによって、ホスト8内で発生した画像データ、または上記のファイルした画像データを記録する場合に

は、入出力設定コード"42"を転送する。この場合も前述と同様に第14図2-6が実行される。

ステップS<sub>110</sub>で、入力部としてホスト8、出力部としてイメージプリンタ3が設定される。

ステップS<sub>111</sub>で、RAM52のプリンタ設定エリア204、および、本体転送フォーマットエリア100が読み出され、メカ制御／記録制御部67に供給される。また、フォーマットがMHコードを設定している場合は画像データ符号／復号制御部69に復号処理の指令が出される。

ステップS<sub>112</sub>で、用紙切れステータスがオンであれば、

ステップS<sub>113</sub>、S<sub>114</sub>で、オンラインフラッグをオフにし、ホスト8へBREAKデータを転送する。

これらの設定の後に、ホスト8よりデータ送受コマンドが転送され、第14図2-

7が完了される。

ステップS<sub>115</sub>で、入力部がホスト8であるので、ACKデータを転送すると

ステップS<sub>116</sub>で、ホスト8よりただちに1ラインのデータが、ステップS<sub>117</sub>で、前述の第11図△に従って1ラインごとにデータ送受コマンドと共に転送され、メカ制御／記録制御部67の記録制御部に供給される。また、ホスト8からのプリンタに対する制御コマンドが受信されると、第13図2-3が実行される。この制御コマンド(例えば改行コマンド)が受信されると、

ステップS<sub>118</sub>で、RAM52のプリンタ設定エリア204が読み出され、メカ制御／記録制御部67に供給され、

ステップS<sub>119</sub>で、コマンド実行が指示される。-

メカ制御／記録制御部67は、上記設定値に従って、コマンドを実行し、

ステップS<sub>120</sub>で、動作完了すると完了

信号を供給して、

ステップS<sub>121</sub>で、ホスト8に対してACKデータを転送する。

データ受信によりプリンタが記録動作中、用紙切れを検出すると、

ステップS<sub>122</sub>、S<sub>123</sub>で、BREAKデータを転送する。

以上の処理が終了すると、ホストは、前述と同様に、ストップコマンドを転送して、制御停止する。

③ ホスト8で発生した画像データをファクシミリ通信する機能。

ホスト8のプログラムによって発生した画像データ、または前述のフロッピーディスクにファイルした画像データを、電話回線4aを介してファクシミリ通信する場合は、入出力設定コマンドと共に設定コード"41"がホスト8より受信される。すなわち入力部としてホスト8、出力部としてファクシミリ4が選択される。この場合も、前

述と同様に、第14図2-6、2-7が実行される。このとき、予めマニュアルまたはホスト8からの制御(図示せず)によって、自動ダイヤルを行うことにより回線接続を行い、回線接続されていなければステップS<sub>124</sub>に進む。

ステップS<sub>125</sub>で、非接続が検知された場合(ファクシミリ伝送制御部70からの制御信号)、

ステップS<sub>126</sub>で、ホスト8へBREAKデータを転送する。

以下、設定値に基づいて前述のローカル制御におけるファクシミリ実行と同様に実行される。ホストから通話要求コマンドが受信されると、第13図2-4が実行される。

ステップS<sub>127</sub>で、通話ステータスがオンにされて、

ステップS<sub>128</sub>で、ファクシミリ転送制御部70へ通話指令を行う。以下ローカル

制御のファクシミリと同様に通話処理が行われる。複数頁を通信する場合は頁要求コマンドが受信され、第13図2-5が実行される。

ステップS<sub>100</sub>で、このコマンドによって頁要求ステータスをオンにすると共に、

ステップS<sub>101</sub>で、ファクシミリ伝送制御部70に次頁要求指令を供給し、

ステップS<sub>102</sub>で、ホスト8にACKデータを転送し、CCITT規格にもとづく頁処理が実行される。

④ ファクシミリ受信した画像データをホストへ転送する機能。

回線接続されたことを確認して(図示せず)、ホスト8より入出力設定コマンドと共に設定コード"43"を供給する。

この受信によって、前述同様に第14図2-6, 2-7が実行される。

この場合、入力部はファクシミリ4であり、出力部はホスト8として選択され、R

ことによって、例えば受信コマンドによって、MHコードの1ラインデータが転送され、このデータが2値データに復号されて、RAM52のワークエリアに一時的に格納した後、データ受信コマンドによって、この格納した2値データがホスト8へ転送される。RAM52のワークエリアではなくラインメモリ55を利用してよい。

以上のように、第5図に示す設定コードによって、種々の制御が実行される。

ホスト8のプログラムで、第5図の組み合わせにより、多種多様の画像データ処理が可能となり、編集が可能となる。

#### ＜発明の効果＞

以上より明らかなように、この発明の複合型画像処理装置は、制御情報によって画像読み取りを行う画像読み取り制御ユニットと、制御情報によって電話回線を介して画像情報を送受するファクシミリ制御ユニットと、制御情報によって画像情報の記録を行う画像記録制御ユニットと、外部装置

AM52のファクシミリ設定エリア202は伝送手順に従って設定される。

データの送受は、上述の④項同様、データ送受コマンドによってなされ、RAM52の本体設定エリア201に従って、ホスト8へのデータ転送形式が決定される。

⑤ ホスト8で発生またはファイルした画像データを、2値データ又はMHコードに変換する機能。

この機能は、入出力設定コマンドと共に受信される設定コード"40"によって実行され、本体設定エリア201の入力部の形式、出力部の形式の設定、すなわちMHコード/MRコードと2値の受信が選択されて、画像データ符号/復号制御部69にこの指令を転送することにより、符号処理または復号処理が成され再びホスト8へ転送される。この機能は第14図2-7において実行され、データ受信要求コマンドとデータ送信要求コマンドを交互に転送される

としてのデータ処理装置に接続され、上記データ処理装置と制御指令および画像情報の送受を行うインターフェイスユニットと、上記各ユニットに接続するバスラインに接続して、外部のデータ処理装置から上記インターフェイスを介して送られる上記制御指令に基づいて上記各ユニット間の情報転送を行うと共に、上記各ユニットに上記制御情報を出力して各々個別に制御する主制御部とを一つの筐体内に収納したので、外部装置のデータ処理装置とオフラインの状態で、コピー機能およびファクシミリ機能が単独に選択的に行うことができ、一方、オンラインの状態で上記データ処理装置からの制御指令に基づいて画像読み取り制御ユニット、ファクシミリ制御ユニット、画像記録制御ユニット、インターフェイスに接続された外部装置のデータ処理装置間のデータ転送がデータバスを介して行うことができるようになり、上記各ユニットの個別の機能に加えて、画像読み取り制御ユニットで読み取った画像情報を外部データ処理装置に出力する機能、外部データ処理装置上

り入力された画像情報を画像記録制御ユニットで記録する機能、外部データ処理装置とファクシミリ制御ユニットとの間でのファクシミリ送受機能等の各ユニット相互間の画像情報処理を可能にし、外部のデータ処理装置の制御指令に基づいて、コンパクトな一台の装置で簡単に多種多様の画像処理や編集が可能になる。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図はこの発明の複合型画像処理装置にパソコンを接続したシステムの外観図、第2図は第1図におけるブロック図、第3図はこの発明における操作パネルの図、第4図はこの発明の複合型画像処理装置内に収納しているRAMの構成を示す図、第5図は入出力設定コードの一例、第6～14図は上記実施例における各種ルーチンのフローチャートである。

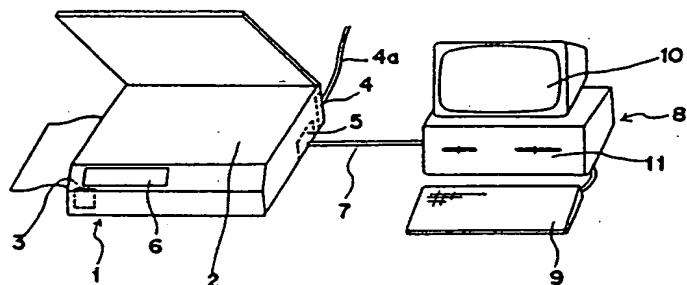
- 1…複合型画像処理装置、2…イメージスキャナ、  
3…イメージプリンタ、  
4…ファクシミリ制御ユニット、  
5…パラレルインターフェイス、

- 8…パソコン、50…メインCPU、  
51…ROM、52…RAM、  
54…CCD読み取り制御部、  
67…メカ制御／記録制御部、  
69…画像データ符号／復号化制御部。

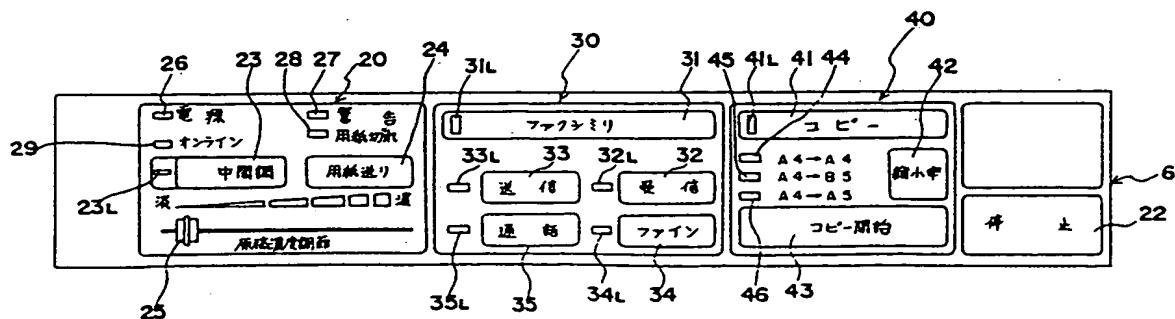
特許出願人 シャープ株式会社

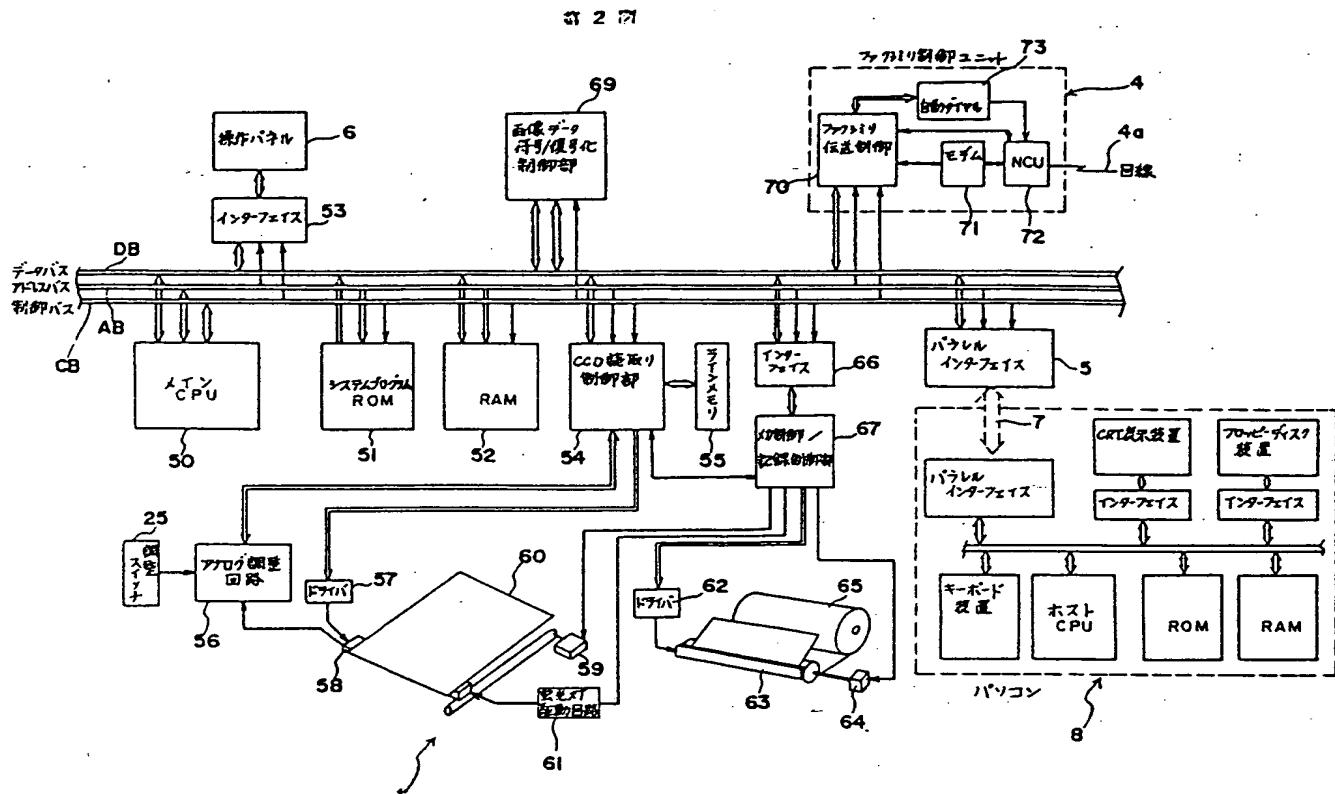
代理人弁理士 青山 蔡 外2名

第1図



第3図





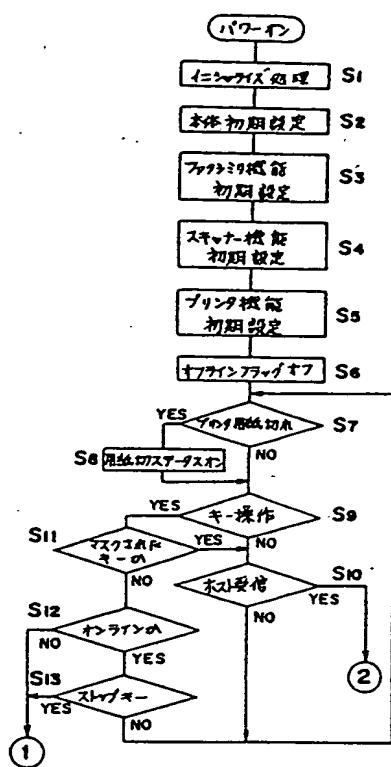
第 4 図

リモート完了	エラー履歴	100
通話	用紙切手	
本体入出力データ配達フォーマット		201
キーマスクデータ		
転送形式		
ノーマル/ファイン		202
受信時間		
送信速度		
スキャナ	中間調設定 読み取り範囲設定 縮小率	203
プリンタ	改行量設定 貞行数設定	204
	入出力設定	205
	オンラインフラッグ オンラインフラッグ	206
	コピー・フラッグ ユニットビズイ	
	ワーカエリア	300
		52

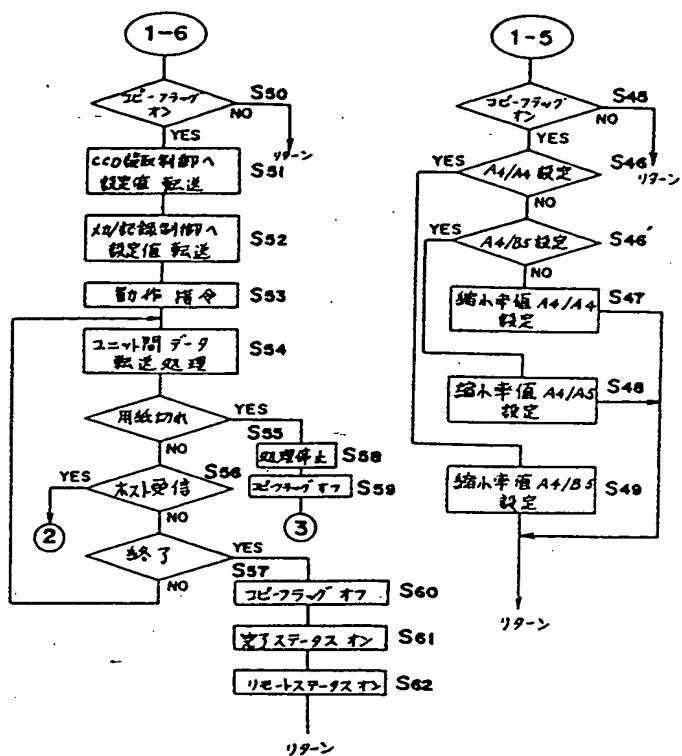
第 5 図

コード	ヘ カ	出 カ
40	ホスト	ホスト
41	ホスト	ファクシミリ
42	ホスト	プリンタ
43	ファクシミリ	ホスト
44	ファクシミリ	プリンタ
45	スキャナ	ホスト
46	スキャナ	ファクシミリ
47	スキャナ	プリンタ

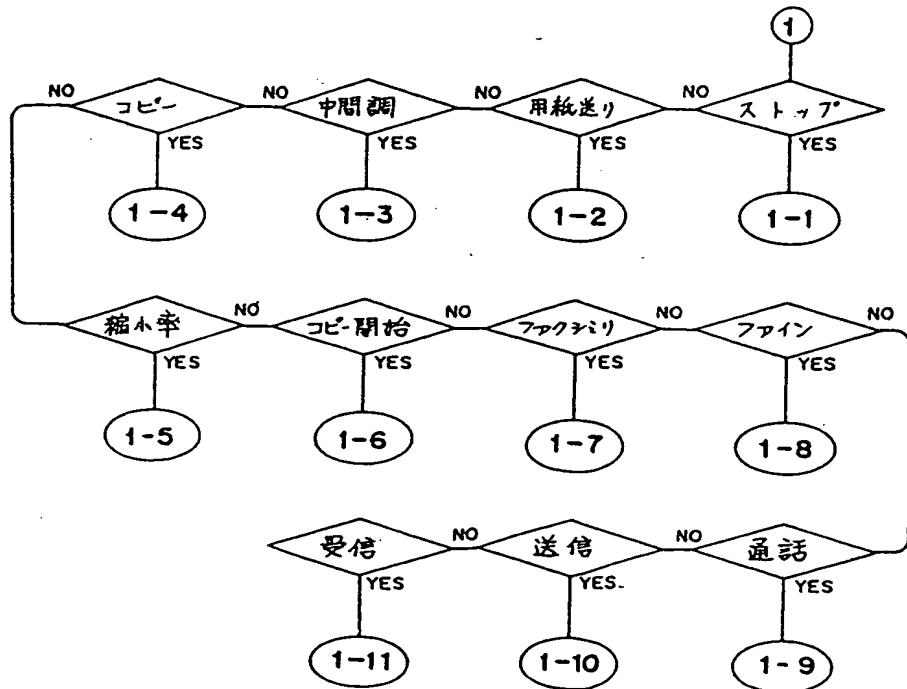
第 6 回



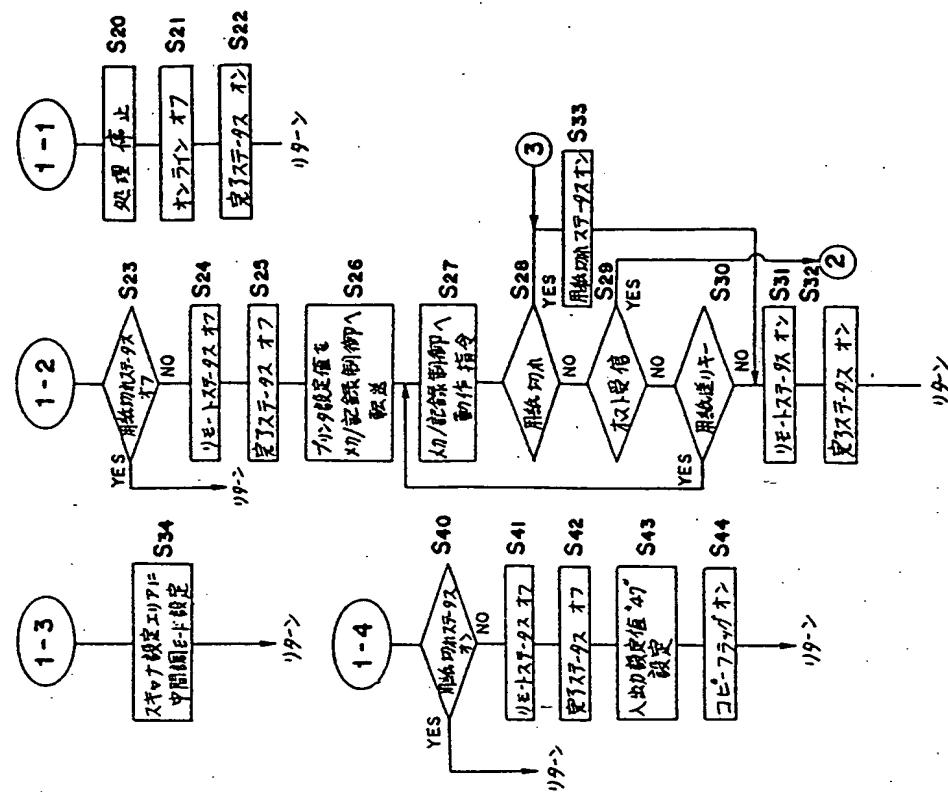
第 9 回



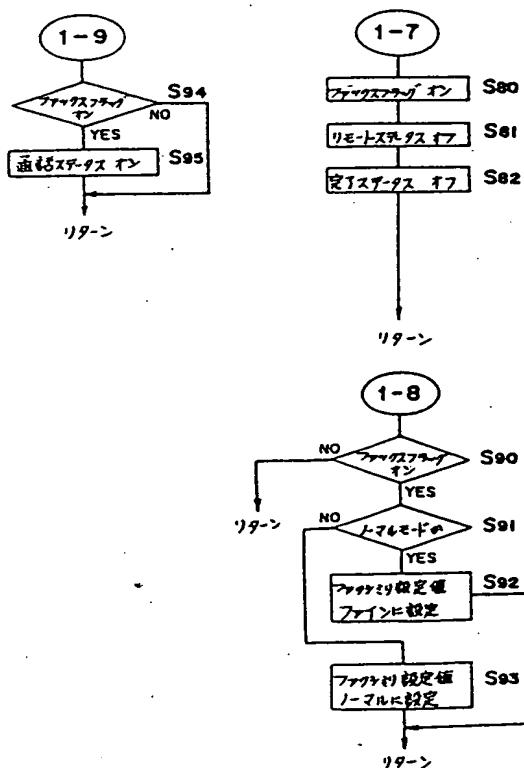
### 第 7 図



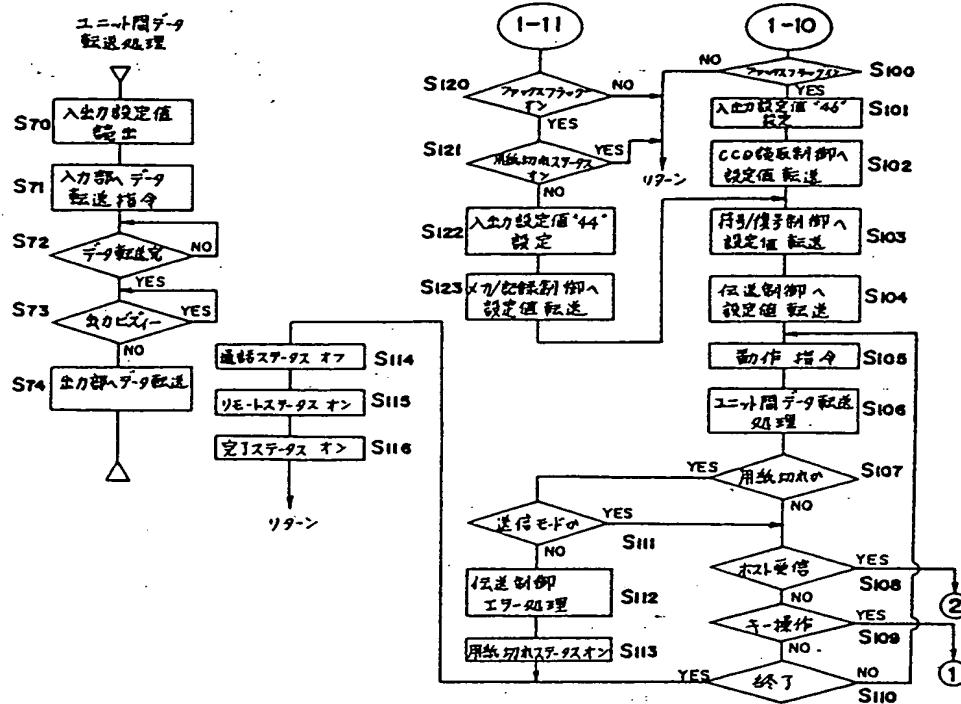
第8図



第10図



第11図



第12図

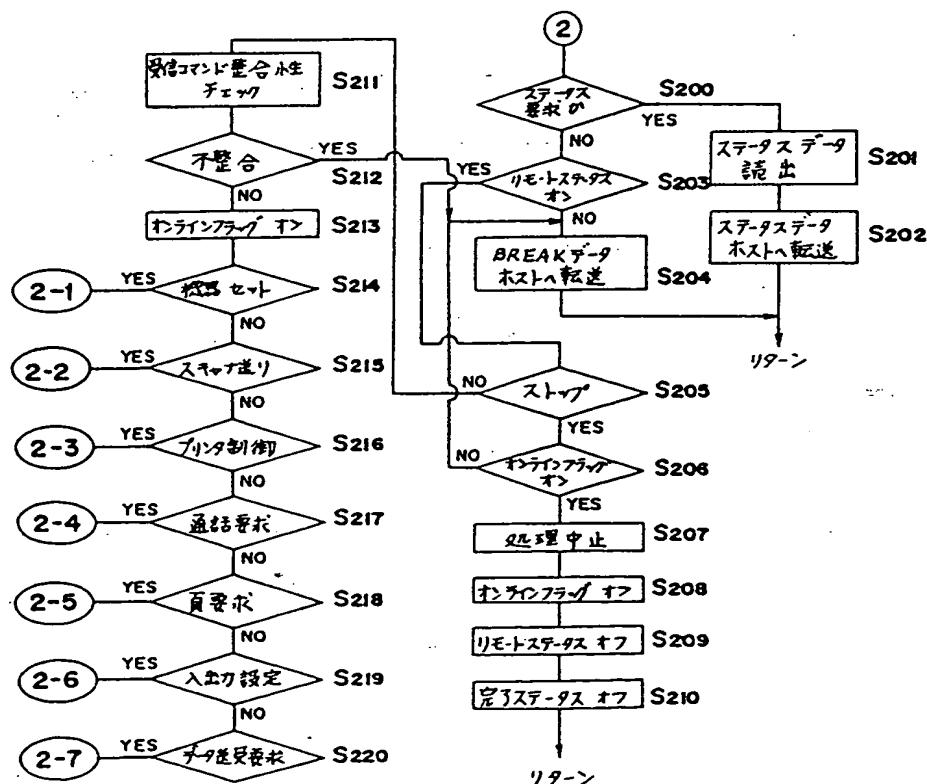


図13 図

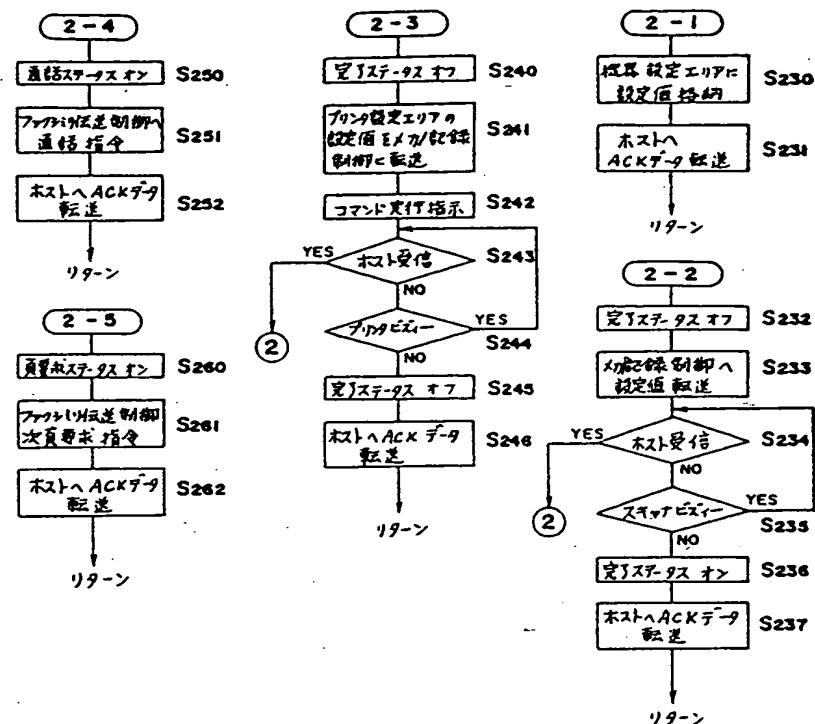
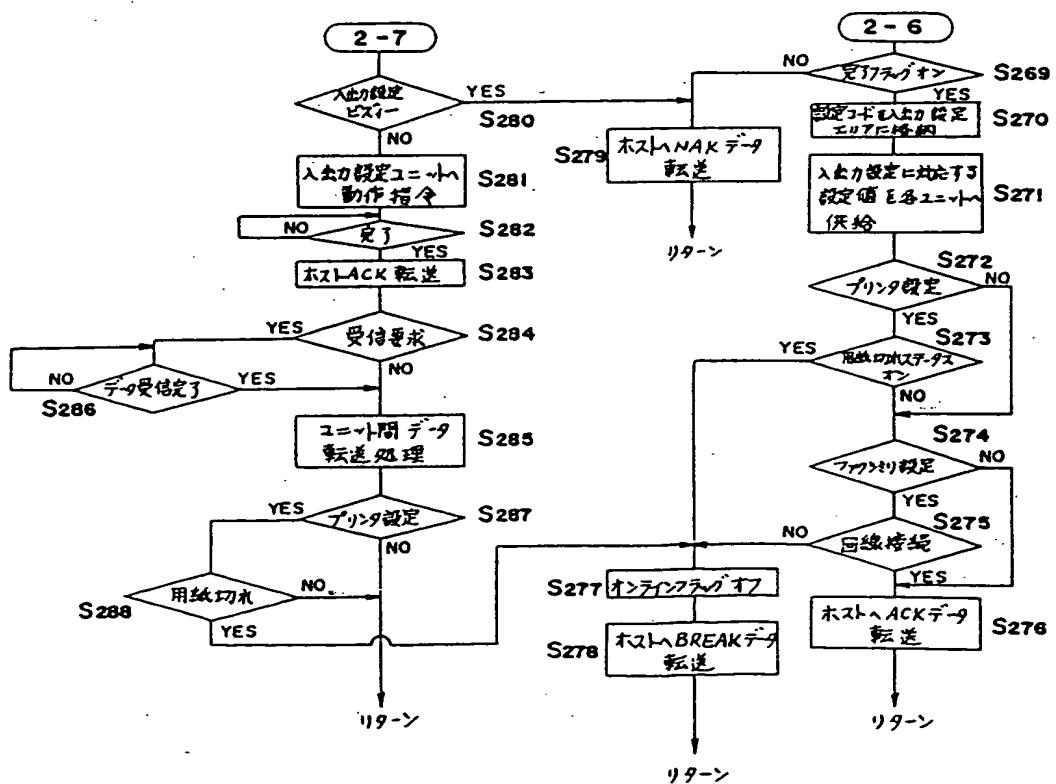


図14 図



## 第1頁の続き

⑤Int.Cl. <sup>4</sup>	識別記号	府内整理番号
H 04 M 11/00	303	8020-5K
⑦発明者	辰巳 順	大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号 内
⑦発明者	飯塚 豊	大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号 内
⑦発明者	富永 恵	大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号 内
⑦発明者	東山 三喜夫	大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号 内
⑦発明者	谷本 昭良	大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号 内
⑦発明者	岡本 慎二	大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号 内
⑦発明者	吉田 俊彦	大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号 内